

## 教科に関する調査の設問別の分析結果

「基礎・基本」定着状況調査 中学校英語 5 2

5 次の1・2の会話文の〔 〕内の語をすべて用いて英文を書き、会話文を完成させなさい。

ただし、〔 〕の中では、文のはじめにくる語も小文字になっています。

2 A : I eat breakfast at seven.

B : What [ do / time / you ] go to school?

A : At eight.

### 【出題の趣旨】

疑問詞の用法について知識があり、疑問詞を用いて、簡単な文を書くことができる。

### 【学習指導要領の内容・領域】

「書くこと」(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

正答率		解答類型	本校の割合 (%)
本校	76.5%	1 time do you	76.5
広島県	60.8%	2 類型1において、大文字・小文字の誤りが1か所ある。	0
		3 類型1において、綴りの誤りが1か所ある。	0
		4 do you time	11.8
		5 time you do	0
		6 do time you	1.9
		7 you do time, you time do	5.9
		8 類型1において、語順はあっているが、大文字・小文字の誤りや綴りの誤りが2か所以上ある。	0
		9 上記以外の解答	3.9
		0 無解答	0

### この問題を解くために必要な力

- ・会話の流れを理解し、適切な質問をする力
- ・疑問詞で始まる疑問文(“What time”)の意味理解
- ・語と語のつながりを考えて、正しい語順で書く力

### 誤答分析

#### ○解答類型4について

- ・“What do you～?”の疑問文には慣れているが、Whatの後に名詞が来る疑問文に慣れていない。ここではWhat timeが「何時か」と時間を問う疑問文で、意味のまとまりを意識できていないと思われる。
- ・“What do you time”と動詞が来るべき場所に名詞があり、疑問文の中での主語・動詞の語順の定着が十分でないことが考えられる。

## 調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

「基礎・基本」定着状況調査 中学校英語 52

### 【単元名】Unit7 「カナダの学校」(New Horizon English Course I) (第1学年)

#### 調査結果からみる課題

##### 【課題となる力】

疑問詞で始まる疑問文の語順を理解し、語と語のつながりを考えて、正しい語順で書く力

##### 【指導上の課題】

疑問詞の後の疑問文の語順で、主語と動詞の位置を理解させ、定着させる指導が不十分である。

疑問詞+do you の指導に比べて、疑問詞+名詞で始まる疑問文の指導が不十分である。

#### 指導改善のポイント

肯定文から Yes/No 疑問文、Wh-疑問文へと語順を変化させ、語と語のつながりを考えて、正しく文を組み立てる。

##### 【指導の工夫】

- ①相手に質問する際、自分のことをまず肯定文で表現させ、Yes/No 疑問文で質問を作らせることで、疑問文での主語と動詞の位置関係を把握させる。更に、No の答えを想定し、Wh-疑問文へと発展させ、補う語を考えさせる。
- ②コミュニケーション活動の中で使用させることを通して定着を図る。

①相手に質問する際、自分のことをまず肯定文で表現させ、Yes/No 疑問文で質問を作らせることで、疑問文での主語と動詞の位置関係を把握させる。更に、No の答えを想定し、Wh-疑問文へと発展させ、補う語を考えさせる。

例① I have rice and miso soup for breakfast.

Do you have rice and miso soup for breakfast?

No, I don't.

What do you have for breakfast?

※Yes/No 疑問文と Wh-疑問文の語順を比較させる。

例② I play baseball after school.

Do you play baseball after school?

No, I don't.

What sports do you play after school?

※補う語を考えさせる。

例③ We have 119 students.

Do you have 119 students?

No, we don't.

How many students do you have?

※What 以外の疑問詞について考えさせる。

1 例を示し、全体で Yes/No 疑問文と Wh-疑問文の作り方を確認する。

2 例文を元に、各自 Yes/No 疑問文と Wh-疑問文を作り、ペアで確認する。

3 海外の中学生に聞いてみたいことを考え、まず自分たちのことを英文にし、更に疑問文を作る。

②実際に海外の中学生に質問する場面を設定する。授業ではALTに答えてもらい、コミュニケーション活動の中で使用させることを通して、多様な疑問文の定着を図る。

## 三原市立久井中学校第1学年 英語科学習指導案

単元名 Unit7 「カナダの学校」 (New Horizon English Course I)

指導者 小廣川和恵  
Adam MacDonald

1. 日 時 平成21年11月18日(水) 10:00~10:50
2. 場 所 本郷生涯学習センター
3. 形 態 第1学年 30名(一斉)

### 単元について

本単元は、日本の中学生とカナダの中学生がテレビ会議を行うという場面設定である。情報機器を活用して交流することで、まず時差や天候の違いに目を向けることができる。また、直接質問をすることでコミュニケーションを図りながらカナダの学校生活等について知ることができる。このように、「情報教育」「異文化理解」を意識した単元となっている。そこで、実際に海外の同年代の生徒と情報交換する機会を持つことで、他国の言語や文化に対する興味を持たせるとともに、コミュニケーション意欲を高めていきたい。

言語事項では、Who~? What time~? How's the weather~? が新出言語材料として扱われている。他にHow many~? How long~?などの疑問詞が盛り込まれている。疑問詞はコミュニケーションを図る上で欠かせない言語材料であり、基本的な文構造の理解と定着が重要であると考えられる。それらの練習やドリルを十分にを行うとともに、コミュニケーション活動を通して、実際の場面で使うことができる力を身につけさせていきたい。

### 調査結果からみる課題

#### <誤答分析から>

11.8%の生徒が“What( do you time)go~?”と解答しており、一番多い誤答であった。この結果の分析から、疑問詞の後の語順を定着させる指導が不十分であることがわかる。

また、この問題では、まず会話前後に「7時」「8時」と時間について言っていることから、「何時か」と時間を問う疑問文であることを把握する必要がある。そしてWhat time のように、意味のまとまりを捉え、語と語のつながりに注意する必要がある。このことから、会話の流れを把握し、適切な語順で疑問文を組み立てることに課題があると考えられる。

#### <指導上の課題>

- 疑問詞の後の疑問文の語順で、主語と動詞の位置を理解させ、定着させる指導が不十分である。
- 疑問詞+do youの指導に比べて、疑問詞+名詞で始まる疑問文の指導が不十分である。

### 指導改善のポイント

#### (1)「ひろしま学びのサイクル」との関連

ひ…広く知識・技能を習得する授業

しっかり教える…肯定文、Yes/No 疑問文、Wh-疑問文を比較して、文構造を捉えさせる。

じっくり考えさせる…Wh-疑問文で、語順と補う語が何かを考えさせる。

はっきり表現させる…一番伝えたい語や聞きたいことの疑問詞を強調するなど、声の大きさやイントネーションに注意して言わせる。

#### (2)「ことばの教育」との関連

「言語技術」を活用した指導を通して、生徒に付けたい力は次の通りである。

□自分たちに関する英文を元に、質問文を作る場面

■主語を明らかにして書く力話す力

## 単元の目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の時差や天候、海外の学校生活について興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>間違いを恐れず、学校生活を紹介する英文を意欲的に書いたり、話したりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻・天候・人物・学校生活などについて、問答することができる。</li> <li>久井中学校を紹介する英文や外国の学校へ質問する英文を書いたり、話したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カナダの中学生と日本の中学生のテレビ会議での対話文を聞いたり読んだりして、内容を正しく理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時差について理解したり、外国と日本の学校生活の違いを理解している。</li> <li>Who～? What time～? How's the weather～?等の疑問詞のある疑問文の意味・用法・答え方を正しく理解している。</li> </ul>

## 指導と評価の計画

(全8時間)

次	学習内容(時数)	評 価				評価方法	
		関	表	理	知		
一	Part1 (1) Who～? 本文		○		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物について、問答することができる。</li> <li>Who～?の文の意味・用法・答え方を正しく理解している。</li> </ul>	発表 ワークシート
二	Part2 (1) What time～? 本文	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の時差や天候について興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>What time～? How's the weather～?の文の意味・用法・答え方を正しく理解している。</li> </ul>	行動観察 ワークシート
三	Part3 (1) How many ～s? How long? 本文			◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>カナダの中学生と日本の中学生のテレビ会議での対話文を聞いたり読んだりして、内容を正しく理解できる。</li> <li>外国と日本の学校生活の違いを理解している。</li> </ul>	行動観察 発表
四	Part4 (1) What do you do～? 本文	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国の学校生活について興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>学校生活について、問答することができる。</li> </ul>	発表 行動観察
五	Writing Plus 1 学校のホームページ 表現活動① …久井中紹介	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>間違いを恐れず、学校生活を紹介する英文を意欲的に書こうとしている。</li> <li>久井中学校を紹介する英文を書くことができる。</li> </ul>	ワークシート
六	表現活動② …質問文作り <本時>		◎		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>久井中学校の紹介文を元に、ポーランドの日本人学校の生活について、質問文を作ることができる。</li> <li>疑問詞のある疑問文の語順を理解している。</li> </ul>	ワークシート 発表 評価問題
七	表現活動③ …ビデオ撮影	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>間違いを恐れず、意欲的に話そうとしている。</li> <li>久井中学校を紹介しながらポーランドの日本人学校の生徒へ質問することができる。</li> </ul>	ビデオ
八	単元テスト インタビューテスト			◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>Who～? What time～? How's the weather～?等の疑問詞のある疑問文の意味・用法・答え方を理解している。</li> <li>自分について話し、疑問詞を用いて質問できる。</li> </ul>	単元テスト インタビューテスト

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ・久井中学校の紹介文を元に、ポーランドの学校生活について、質問文を作ることができる。
- ・疑問詞のある疑問文の語順を理解している。

### (2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<b>1 ウォームアップ</b>			
<p>○挨拶 ○疑問詞の input</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>What / What time / How / How long / How many ~s / Who / Which</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の宿題として「ノートに疑問詞を書いて練習しておくこと」を課している。</li> <li>・テンポよく繰り返し口頭練習させる。</li> <li>・本時の活動の際、ヒントとなるように疑問詞カードを黒板に貼る。</li> </ul>		
<p>○クイズ：ポーランドの街の様子について、写真を見せながら質問する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①Which country is this? A:America B:France C:Poland</p> <p>②What sign is this? A:Mc' Donald' s B:M&amp;M' s chocolate C:Metoro station</p> <p>③What' s this? A:pinwheel B:balloon C:candy</p> <p>④Who is from Poland? A:Chopin B:Beethoven C:Mozart</p> <p>⑤What time is it in this picture? A:It' s 6:30. B:It' s 7:30. C:It' s 9:30.</p> </div> <p>○日本人学校の先生と生徒の紹介</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>JTE: OK, everyone. Let' s talk with Asuka. Ss: What? Who' s Asuka? JTE: She' s my friend. 【ビデオ】 (日本人学校の先生の自己紹介) Hi! I' m Asuka Muramoto. I live in Warsaw in Poland. I' m a teacher ~ (日本人学校の生徒の自己紹介)</p> </div> <p>*聞き取れたことを確認する。(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生と生徒の情報</li> <li>・時刻や時差について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標への興味づけとして、クイズ形式でポーランドの様子を紹介する。</li> <li>・外国の景色や風土に興味を持たせるために、写真を用いる。</li> <li>・外国の生活を推測するために、クイズ形式で答えさせ、積極的に参加させる。</li> <li>・コミュニケーション意欲を高めるために、実際に動画で紹介する。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表しやすいように、まずペアで確認させる。</li> <li>・3単現のsに気をつけて英語で言わせる。</li> </ul>		

## 2 本時の目標確認

Today's goal ポーランドの学校生活について質問文を作ろう。

## 3 疑問詞を含む疑問文の文構造の確認

○教科書本文の例文をもとに、疑問文の文構造を確認する。

・スマートボードで肯定文を提示する。  
・肯定文を元に、Yes/No 疑問文、Wh-疑問文に変化させ、スマートボード上で確認させる。

・疑問詞のある疑問文の語順を理解している。

発表

肯定文、Yes/No 疑問文、Wh-疑問文を比較して、文構造を捉えさせる。

教

### 文構造カード

<毎日の授業数>…一般動詞の場合

		主語	動詞	～	場所・時	. / ?
		We	have	five or six classes	each day	.
	Do	you	have	five or six classes	each day	?
How many classes	do	you	have		each day	?

<授業の長さ>…be 動詞の場合

		主語	動詞	～	場所・時	. / ?
		The classes	are	fifty minutes long		.
	Are	the classes		fifty minutes long		?
How long	are	the classes				?

## 4 疑問詞を使って質問文を作る。

○久井中学校の学校紹介の文をもとに、質問文を作る。

①久井中学校の学校紹介を Show and Tell で確認する。

②6つの文を、質問文に変える。  
(ワークシート)

**個人思考**…まず、自分で考える。

・発表者には、スクリーンで写真を映すことにより、学校紹介をしている実感をもたせる。  
・聞く側には、ポーランドの生徒に伝える内容を確認させる。  
・文構造カード(ワークシート)に記入しながら、考えさせる。  
・レベル1から難易度を上げ、段階をおって解答できるようにする。  
・語順に注意させ、補う疑問詞、変える必要のある語は何かを考えさせる。  
・ウォームアップで確認した疑問詞のカードを参考にさせる。

・久井中学校の紹介文を元に、ポーランドの日本人学校の生活について、質問文を作ることができる。

ワークシート

Wh-疑問文で、語順と補う語が何かを考えさせる。

考

全部できたら、更に他の質問を考える。

【集団思考】…ペアで語順確認する。

- ・不安なところをペアで確認して自信を持たせたり，わからないところを明らかにさせる。

- Level① We have 119 students in our school.  
→How many students do you have in your school?
- Level② We leave school at 5:00.  
→What time do you leave school?
- Level③ We have 10 minutes between classes.  
→How long do you have between classes?
- Level④ We come to school by bike.  
→How do you come to school?
- Level⑤ Our school starts at 8:25.  
→What time does your school start?
- Level⑥ We play soccer or talk with our friends after lunch.  
→What do you do after lunch?

発表

③全体で語順確認[答え合わせ] (発表)  
Q

④全体で口頭練習(リピート→Q&A)  
全体でリピート: Q  
ALT: Q→Ss: A  
Ss: Q→ALT: A  
クラスを半分に分けて練習: Q A

⑤ペアでの会話練習  
Q&A [③から⑤の繰り返し]

⑥ALTへの質問 (発表)

- ・スマートボード上でテンポよく確認する。
- ・全体での口頭練習により，質問文の言い方に慣れさせる。
- ・なるべく文字を見ないで言うように指示するが，難しい場合はセントとして文字を見てもよいこととする。
- ・相手を意識して，会話練習させる。
- ・質問の練習として，ALTの学生時代のことを答えてもらう。
- ・一番伝えたい語を強く言うよう指示する。
- ・次時のビデオ撮影の練習となるように，意識させる。

表

一番伝えたい語や聞きたいことの疑問詞を強調するなど，声の大きさやイントネーションに注意して言わせる。

### 5 本時の学習を振り返る

○評価問題

評価問題

次の[ ]内の語をすべて用いて英文を書き，質問文を完成させなさい。  
ただし，[ ]内の中では，文の初めにくる語も小文字になっています。

①We leave school at 5:00.  
→What [do / time / you] leave school?

②We have 10 minutes between classes.  
→How [you / long / do] have between classes?

③We have 119 students in our school.  
→[do / many / how / students] you have in your school?

<p>○自己評価</p> <p>○次時の学習内容確認 ビデオレター作成</p> <p>○家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6つの質問を言いながら毎勉ノートに3回書く。</li> <li>・更に質問文を3文考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオ撮影を意識して、質問文をスラスラ言えるように練習してくるよう指示する。</li> </ul>		<p>自己評価表</p>
---	---	--	--------------



## Results of an Analysis into Students' Misunderstanding of Questions

5 Please rearrange the words in parentheses below to be in correct grammatical order for standard English.

2 A: I eat breakfast at seven.

B: What [ do / time / you ] go to school?

A: At eight.

### 【Purpose of the Question】

Familiarity with and correct usage of interrogative words in English

### 【学習指導要領の内容・領域】

To write sentences correctly with due attention to the connections between the words used.

	Percentage of Correct Answers
Kui Junior High School	76.5%
Hiroshima Pref.	60.8%

Response Given	Kui JHS Response Percentages (%)
1 time do you	76.5
2 Capitalization Problem after Giving Response One	0
3 Spelling Problem after Giving Response One	0
4 do you time	11.8
5 time you do	0
6 do time you	1.9
7 you do time, you time do	5.9
8 Two or More Capitalization/Spelling Problems after Giving Response One	0
9 Response Given Other than the Above	3.9
0 No Response	0

### Abilities Required to Answer the Question

- Understand the overall meaning of the question and give an appropriate response
- Understand the meaning of the phrase in question ("What time")
- Ability to place the words in correct grammatical order while thinking about the connection between the words

### Analysis of Incorrect Answers

- A Note on Response Four
  - Since students are familiar with the question pattern "What do you ~?", but are not familiar with the "What + [Noun]" question pattern, confusion can result between the two. Due to this, students often fail to understand the connection established between the words when "what" and "time" are placed next to one another.
  - In the incorrect response "what do you time", students have confused the proper locations for the noun and verb. This is often due to the fact that interrogative phrases invert the subject + verb order used for declarative sentences.

## Points of Improvement for Teachers Determined from the Results of the Analysis

Unit 7 Canadian School (New Horizon English Course I) First Year JHS

### Resulting Issues

【Inability to Solve the Problem】

- Students fail to understand the connection between words when writing interrogative phrases.

【Problems Faced by Teachers】

- Not enough time is allotted to teaching word order for interrogative phrases.
- A great deal of time is spent on teaching the “[interrogative] + do you” phrase, leaving little time to teach the “[interrogative] + [noun]” pattern.

### Teaching Pointers

【Teaching Resources】

- Create a three-step process for writing interrogative phrases: write the declarative sentence, change to a simple “do you” question pattern, and then finally change to a “what + [noun]” pattern.
- To allow this new concept to take root, students should be provided ample time to utilize this new three-step process.

- ① Create a three-step process for writing interrogative phrases: write the declarative sentence, change to a simple “do you” question pattern, and then finally change to a “what + [noun]” pattern.

Ex ① I have rice and miso soup for breakfast.

Do you have rice and miso soup for breakfast?

No, I don't.

What do you have for breakfast?

Note: Compare the different question patterns.

Ex ② I play baseball after school.

Do you play baseball after

school?

No, I don't.

What sports do you play after school?

Note: Noun must be inserted following the interrogative.

Ex ③ We have 119 students.

Do you have 119 students?

No, we don't.

How many students do you have?

Note: Other interrogatives besides 'what' can also be used.

- ② In the lesson, students had the opportunity to speak with students from overseas. They also will be able to practice with ALTs. To allow this new concept to take root, students should be provided ample time to utilize this new three-step process.

## About the Unit

In this unit, there is a video conference scene between Japanese junior high school students and a Canadian junior high school student. The aim is to make use of communication media to exchange information, such as the difference in time and weather. Also, students will attempt communicating by asking direct questions to know about Canadian school life. The purpose of this unit is to be conscious of “cultural information” and “intercultural understanding”.

The interrogative phrases “who ~?”, “what time ~?”, “how’s the weather ~?” are relatively new to the students. Students are, however, familiar with the phrases “how many ~?” and “how long ~?”. These interrogative phrases are very important for practice exercises and drills as well as in English communication in general. This enables the students to engage in genuine communication in the target foreign language.

## Resulting Issues

### From Student Errors

11.8% of students incorrectly answered “What (do you time) go ~?”, the most common incorrect response. This result indicates that teachers need to devote more time to teaching word order for interrogative phrases. Additionally, by hearing “seven o’clock” or “eight o’clock” within the question, students should be able to determine that the question pertains to “what time” in some form. Students need to understand the connection between the words.

To summarize, students need to be able to understand the overall meaning in the conversation at hand and be able to properly structure their interrogative phrases, i.e. in the correct order.

### Teaching Pointers

- When dealing with interrogative phrases, the location of the subject and verb has to date not been covered sufficiently. There is room for improvement.
- When compared with such interrogative phrases as “[interrogative] + do you”, the phrase “[interrogative] + [noun]” has not been taught often enough in the classroom for students to have gained full mastery.

## Points for Improvement

### (1) Relation to the "Hiroshima's Learning Cycle" (ひろしま学びのサイクル)

To gain a wide range of knowledge and varying skills

- Focused Teaching – Students should be able to understand the differences between declarative sentences, Yes/No interrogatives, and Wh- questions as well as internalizing the meaning.
- Well-Thought Out Teaching – In regards to Wh- questions, students should remember that the noun must be inserted following the interrogative.
- Clear Expression – Students should speak clearly, loudly and with good intonation.

### (2) The Relation to the Educational Motto (Kotoba no Kyoiku)

When teachers adhere to the Language Techniques, students are given the opportunity to have conversations within the lesson. Through this practice, the subject becomes clearly defined in students' speech.

## The Goal of this Unit

Interest, Enthusiasm and Positive Attitude toward Communication	Ability to Express	Ability to Understand	Knowledge and Understanding of Language and Culture
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Try to communicate enthusiastically and naturally when discussing time differences, weather and school life in other countries.</li> <li>● Try to communicate enthusiastically without being afraid of making a mistake.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Be able to ask questions and respond to others about time differences, weather and school life in other countries.</li> <li>● Be able to write or talk about their own school in English.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Understand written and aural content exchanged between Canadian and Japanese junior high school students via video conferencing.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Understand the time and school life differences between Japan and other countries.</li> <li>● Understand the meaning, usage and correct response to the interrogative phrases "who ~?", "what time ~?" and "how's the weather ~?" as well as being able to use these phrases.</li> </ul>

## Plans for Teaching and Evaluation

(Hours)

	Learning Content (Hours)	Evaluation				Criteria	Method
		A	C	E	K		
1	Part 1 Who~?		○		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Be able to speak about another person through question and response.</li> <li>● Understand the meaning, usage and correct response to "who ~?" questions and be able to use these phrases.</li> </ul>	Classroom Participation, Worksheets
	Part 2 What time~?	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Try to communicate enthusiastically and naturally when discussing time differences and weather in other countries.</li> <li>● Understand the meaning, usage and correct response to the interrogative phrases "what time ~?" and "how's the weather ~?" as well as being able to use these phrases.</li> </ul>	Observation, Worksheet
3	Part 3 How many ~s? How long?			◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>● Understand written and aural content exchanged between Canadian and Japanese junior high school students via video conferencing.</li> <li>● Understand the school life differences between Japan and other countries</li> </ul>	Observation, Classroom Participation
4	Part 4 What do you do ~?	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Try to communicate enthusiastically and naturally when discussing school life in other countries.</li> <li>● Be able to ask questions and respond to others about school life in other countries.</li> </ul>	Classroom Participation, Observation
5	Writing Plus 1 School Homepage Expressive Activities	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>● Try to communicate enthusiastically without being afraid of making a mistake.</li> <li>● Be able to write about school life fitting structure.</li> </ul>	Worksheet
6	Expressive Activities Creating Questions		◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>● Be able to create their own questions about the Japanese school in Poland using the introduction presentation about their school as an example.</li> <li>● Understand the structure of interrogative phrases.</li> </ul>	Observation, Classroom Participation
7	Expressive Activities Making a Video	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Try to communicate enthusiastically without being afraid of making a mistake.</li> <li>● Be able to ask questions and respond to others about time differences, weather and school life in other countries as well as providing information about their own school.</li> </ul>	Video
8	Unit Test, Interview Test				◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Understand the meaning, usage and correct response to the interrogative phrases "who ~?", "what time ~?" and "how's the weather ~?" as well as being able to use these phrases.</li> <li>● Be able to ask questions and respond to others about themselves.</li> </ul>	

※ Evaluation A=Attitude    C=Comprehension    E=Expression    K=Knowledge

## Content of the Lesson

### (1) Today's Goal

- Be able to create their own questions about the Japanese school in Poland using the introduction presentation about their school as an example.
- Understand the order of interrogative phrases.

### (2) Today's Learning Procedure

Activity	Points that Require Special Attention	Criteria	Method
1 Warm-Up			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Greeting</li> <li>● Develop Familiarity with Use of the Interrogatives</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     What / What time / How / How long / How many ~s / Who / Which                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Upon looking at pictures of and questions about the Japanese school in Poland, students will choose an answer.</li> <li>● About City and School                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Quiz</li> <li>① Which country is this? A: America B: France C: Poland</li> <li>② What sign is this? A: McDonald's B: M&amp;M's Chocolate C: Metro Station</li> <li>③ What's this? A: Pinwheel B: Balloon C: Candy</li> <li>④ Who is from Poland? A: Chopin B: Beethoven C: Mozart</li> <li>⑤ What time is it in this picture? A: It's 6:30. B: It's 7:30. C: It's 9:30.</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Practice using the interrogatives as homework.</li> <li>● Practice using the vocabulary through repetition set to a tempo.</li> <li>● By practicing the vocabulary prior to the lesson, students should be able to utilize their new knowledge during the lesson itself.</li> <li>● By using a quiz during the lesson, students will gain interest in the topic being covered.</li> <li>● Use scenic pictures to stimulate interest in foreign countries.</li> <li>● Using the quiz and pictures, students will think about life in another country.</li> <li>● By viewing interesting videos and using other media, students will feel confident in</li> </ul>		

<p>Video from the Japanese School in Poland          JTE: OK, everyone.          Let's talk with Asuka.          Ss: What? Who's Asuka.          JTE: She's my friend.          T in P: Hi! I'm Muramoto Asuka.          I live in Warsaw in Poland.          I'm a teacher ~</p> <p>A student from Poland will introduce herself.          A teacher and a student in Poland will have a conversation.          Students in Japan will attempt to listen and understand the conversation, in particular the topics of time difference and other information.</p>	<p>communicating with others.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Students will discuss the topic with their pair partner to gain confidence in the usage of the new vocabulary and phrases.</li> <li>● When discussing the topic in their pair groups, students</li> </ul>		
---	--	--	--

## 2 Check Today's Goal

Today's Goal – Students will create their own questions about the Japanese school in Poland.

## 3 Check the Structure of the Sentences

<ul style="list-style-type: none"> <li>● Check the structure of students' interrogative sentences by comparing them with those in the textbook.</li> <li>● Check the structure of the students' declarative and Wh-question sentences.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Using the SMART Board, show the students example sentences.</li> <li>● Using the example sentence, change the exemplar into a 'yes/no' question and then into the new interrogative form.</li> </ul>		
---	---	--	--

### 文構造カード

<毎日の授業数>…一般動詞の場合

		主語	動詞	～	場所・時	./?
		We	have	five or six classes	each day	.
	Do	you	have	five or six classes	each day	?
How many classes	do	you	have		each day	?

<授業の長さ>…be 動詞の場合

		主語	動詞	～	場所・時	./?
		The classes	are	fifty minutes long		.
	Are	the classes		fifty minutes long		?
How long	are	the classes				?

## 4 Make Interrogative Sentences

○ Students will make interrogative sentences using the introduction to Kui Junior High School as an example.

- ① Check the introduction of Kui Junior High School.
- ② Change six sentences into the discussed question pattern using the worksheet.
  - If they finish quickly, they should do the other sentences.
  - If all the sentences are completed, students should create their own sentences.
  - Think individually.
  - Think in pairs.
- ③ Check the answers.
- ④ Oral practice and checks for understanding.
- ⑤ Conversation practice in pairs.

### Teaching Resources

- Using pictures, motivate the students to present their school introduction.
- Using the card above (worksheet), students can create interrogative sentences.
- Create a three-step process for writing interrogative phrases: write the declarative sentence, change to a simple "do you" question pattern, and then finally change to a "what + [noun]" pattern.

Upon introducing Kui Junior High School, students will ask questions about the Japanese school in Poland.

Observation  
Classroom Participation

In regards to Wh- questions, students should remember that the noun must be inserted following the interrogative.

- Level① We have 119 students in our school.  
→How many students do you have in your school?
- Level② We leave school at 5:00.  
→What time do you leave school?
- Level③ We have 10 minutes between classes.  
→How long do you have between classes?
- Level④ We come to school by bike.  
→How do you come to school?
- Level⑤ Our school starts at 8:25.  
→What time does your school start?
- Level⑥ We play soccer or talk with our friends after lunch.  
→What do you do after lunch?

- Classroom Participation: Students should practice and ask the ALT questions, which the ALT will answer.

- To allow this new concept to take root, students should be provided ample time to utilize this new three-step process.

Students should speak clearly, loudly and with good intonation.



## 5 Lesson Review

- Check for Understanding

Please rearrange the words in parentheses below to be in correct grammatical order for standard English.

- ① We leave school at 5:00.  
→ What [do / time / you ] leave school?
- ② We have 10 minutes between classes.  
→ How [ you / long / do ] have between classes?
- ③ We have 119 students in our school.  
→ [do / many / how / students ] you have in your school?

- Self-Evaluation
- Inform students about the content of the next lesson.
- Give homework.
  - Write each question three times in the student's personal notebook.
  - Make three questions following the pattern on their own.

- Give students who are struggling some examples to help.

Understand the order of interrogative phrases as well as being able to use these phrases.

Check for Understanding

Self-Evaluation